

**【価格対策課業務】**

肉用牛経営及び養豚経営の安定対策のための価格差補てん事業の支援を通じ、畜産経営の安定を図るとともに、生産振興のため生産基盤の強化拡大に資する各種事業を実施しました。

1) 補助・助成事業

(1) 独立行政法人農畜産業振興機構補助事業

① 肉用子牛生産者補給金制度

契約肉用子牛1頭当りに必要な生産者積立金を生産者の負担金と県、独立行政法人農畜産業振興機構の助成により造成し、四半期毎の平均売買価格が肉用子牛の再生産を確保することを旨として設定された「保証基準価格」を下回った場合に生産者補給金を交付する事業を実施しました。

なお、第4四半期にその他肉専用種において発動しましたが、当県では該当牛がなく補給金の交付はありません。

a) 生産者補給金交付契約締結状況 (単位:戸)

契約区分	契 約 者 数				
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
個 人	26	28	27	25	26
農事組合法人	4	4	3	3	3
株 式 会 社	6	6	8	10	10
合 名 ・ 合 資	-	-	-	-	-
有 限 会 社	3	3	3	3	3
合 計	39	41	41	41	42

b) 事務委託契約締結状況 (単位:件)

委託先区分	委 託 契 約 数				
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
総 合 農 協	9	8	6	7	6
専 門 農 協	0	0	0	0	1
農 協 連	2	2	2	2	1
そ の 他	1	1	1	1	1
合 計	12	11	9	10	9

c) 契約肉用子牛個体登録頭数 (単位:頭)

品種区分 期間区分	黒毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	計
令和3年1月~3月	361	0	0	430	791
令和3年4月~6月	383	0	0	435	818
令和3年7月~9月	358	0	0	438	796
令和3年10月~12月	394	0	0	423	817
合 計	1,496	0	0	1,726	3,222

d) 保証基準価格と合理化目標価格 (単位：円)

品種区分	保証基準価格	合理化目標価格
	令和3年1～12月	令和3年1～12月
黒毛和種	541,000	429,000
その他の肉専用種	320,000	253,000
乳用種	164,000	110,000
交雑種	274,000	216,000

e) 肉用子牛平均売買価格 (単位：円)

品種区分 期間区分	黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
令和3年1月～3月	774,500	297,300	249,800	380,500
令和3年4月～6月	756,000	-	246,300	339,000
令和3年7月～9月	720,400	-	245,300	326,900
令和3年10月～12月	738,100	-	237,600	315,400

f) 契約肉用子牛1頭当り生産者負担金 (単位：円)

品種区分	生産者積立金	
黒毛和種	令和3年1月～12月	400
その他の肉専用種	令和3年1月～12月	4,700
乳用種	令和3年1月～12月	1,700
交雑種	令和3年1月～12月	800

g) 生産者積立金造成内訳 (令和3年1月～12月) (単位：頭、円)

品種区分	期間区分	個体登録頭数	1頭当り積立金単価	生産者積立金造成額	生産者積立金の負担区分		
					機構(1/2)	三重県(1/4)	生産者(1/4)
黒毛和種	1～12月	1,496	1,600	2,393,600	1,196,800	598,400	598,400
その他の肉専用種	1～12月	0	18,800	0	0	0	0
乳用種	1～12月	0	6,800	0	0	0	0
交雑種	1～12月	1,726	3,200	5,523,200	2,761,600	1,380,800	1,380,800
合計		3,222	-	7,916,800	3,958,400	1,979,200	1,979,200

h) 生産者積立金及び生産者積立準備金造成状況

(単位：円)

区分		保証基準価格の品種区分	黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合計	
(1) 期首残高	①	生産者積立金	2,175,600	0	0	5,140,000	7,315,600	
	②	生産者積立準備金	—	—	—	—	93,152,941	
	内訳	③	生産者の負担金充当分	—	—	—	—	6,757,733
		④	都道府県の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	86,395,208
		⑤	機構の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	0
(2) 生産者積立金積立実績	⑥	生産者積立金純増加額 (⑨+⑫+⑮+⑱)	1,234,800	0	0	4,101,600	5,336,400	
	⑦	生産者積立準備金からの繰入額 (⑩+⑬+⑯)	1,158,800	0	0	1,421,600	2,580,400	
	⑧	計	2,393,600	0	0	5,523,200	7,916,800	
	生産者	⑨	負担金	38,000	0	0	1,340,000	1,378,000
		⑩	生産者積立準備金(③からの繰入額)	560,400	0	0	40,800	601,200
		⑪	小計	598,400	0	0	1,380,800	1,979,200
	都道府県	⑫	生産者積立助成金	—	—	—	—	—
		⑬	生産者積立準備金(④からの繰入額)	598,400	0	0	1,380,800	1,979,200
		⑭	小計	598,400	0	0	1,380,800	1,979,200
	機構	⑮	生産者積立助成金	1,196,800	0	0	2,761,600	3,958,400
		⑯	生産者積立準備金(⑤からの繰入額)	—	—	—	—	—
		⑰	小計	1,196,800	0	0	2,761,600	3,958,400
	その他	⑱	生産者積立金とすることを指定して寄付又は補助された財産	—	—	—	—	—
	(3) 他の資金からの繰入状況等	⑲	特別の積立金から生産者積立金へ繰入れた金額	—	—	—	—	—
		⑳	調整積立金から生産者積立金へ繰入れた金額	—	—	—	—	—
		㉑	生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額	—	—	—	—	—
		㉒	生産者積立金に係る運用果実	—	—	—	—	—
㉓		他資金から生産者積立金への繰入額	—	—	—	—	—	
㉔		生産者補給金交付額(㉑を含む)	0	0	0	0	0	
㉕		生産者積立金からの借入金返済額	—	—	—	—	—	
㉖		他の資金からの繰入による借入金返済額	—	—	—	—	—	
㉗		生産者積立金から生産者積立準備金への繰入額	0	0	0	0	0	
㉘		生産者積立準備金に係る運用果実	—	—	—	—	—	
㉙		生産者積立準備金から償還円滑化積立金への繰入額	—	—	—	—	—	
㉚		生産者積立準備金からの返還額(生産者分)	—	—	—	—	0	
㉛	生産者積立準備金からの返還額(都道府県分)	—	—	—	—	0		
㉜	生産者積立準備金からの返還額(機構分)	—	—	—	—	0		
(4) 期末残高	⑳	生産者積立金 (①+⑧+⑲+⑳+㉑+㉒+㉓-⑲-⑳-㉑-㉒)	4,569,200	0	0	10,663,200	15,232,400	
	㉑	生産者積立準備金 (②-⑦+⑦+⑧-⑨-⑩-⑪-⑫)	—	—	—	—	90,572,541	
	内訳	㉒	生産者の負担金充当分	—	—	—	—	6,156,533
		㉓	都道府県の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	84,416,008
	㉔	機構の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	0	

## i) 特別の積立金造成状況

(単位：円)

品種区分		黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	計
期首残高		—	2,032,455	14,582,995	29,534,762	46,150,212
増加	積立金	—	—	—	—	—
	運用益	—	—	—	—	—
	小計	—	—	—	—	—
減少	積立金へ繰入	—	—	—	—	—
	償還円滑化積立金へ繰入	—	—	—	—	—
	普通財産へ繰入	—	—	—	—	—
	小計	—	—	—	—	—
期末残高		—	2,032,455	14,582,995	29,534,762	46,150,212

## j) 償還円滑化積立金の造成状況

(単位：円)

品種区分		黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合計
期首償還円滑化積立金の残高		2,570,354	1,086,629	426,388	200,312	4,283,683
償還円滑化積立金造成実績	機 構	—	—	—	—	—
	三 重 県	—	—	—	—	—
	生 産 者 (生産者積立準備金より繰入)	—	—	—	—	—
	合 計	—	—	—	—	—
運用益		44	18	7	4	73
生産者積立金へ繰入		0	0	0	0	0
期末償還円滑化積立金の残高		2,570,398	1,086,647	426,395	200,316	4,283,756

k) 生産者補給金交付状況  
(交付金部分+積立金部分)

(単位：円、頭、人)

期間区分			品種区分		黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合計	
令和2年度	第4四半期	令和3年 1月1日 ～ 3月31日	①交付対象 頭数	販売	246	0	0	362	608	
				保留	187	0	0	58	245	
				合計	433	0	0	420	853	
			②生産者補 給金単価	補給交付金	0	0	0	0		
				積立金	0	0	0	0		
				小計	0	0	0	0		
	③生産者補 給金交付額 (①×②)	補給交付金	0	0	0	0	0			
		積立金	0	0	0	0	0			
		小計	0	0	0	0	0			
	交付対象生産者数				0	0	0	0	0	
	令和3年度	第1四半期	令和3年 4月1日 ～ 6月30日	①交付対象 頭数	販売	147	0	0	369	516
					保留	172	0	0	60	232
合計					319	0	0	429	748	
②生産者補 給金単価				補給交付金	0	0	0	0		
				積立金	0	0	0	0		
				小計	0	0	0	0		
③生産者補 給金交付額 (①×②)		補給交付金	0	0	0	0	0			
		積立金	0	0	0	0	0			
		小計	0	0	0	0	0			
交付対象生産者数				0	0	0	0	0		
第2四半期		令和3年 7月1日 ～ 9月30日	①交付対象 頭数	販売	225	0	0	374	599	
				保留	169	0	0	60	229	
				合計	394	0	0	434	828	
			②生産者補 給金単価	補給交付金	0	0	0	0		
				積立金	0	0	0	0		
				小計	0	0	0	0		
③生産者補 給金交付額 (①×②)		補給交付金	0	0	0	0	0			
		積立金	0	0	0	0	0			
	小計	0	0	0	0	0				
交付対象生産者数				0	0	0	0	0		
第3四半期	令和3年 10月1日 ～ 12月31日	①交付対象 頭数	販売	122	0	0	368	490		
			保留	184	0	0	57	241		
			合計	306	0	0	425	731		
		②生産者補 給金単価	補給交付金	0	0	0	0			
			積立金	0	0	0	0			
			小計	0	0	0	0			
③生産者補 給金交付額 (①×②)	補給交付金	0	0	0	0	0				
	積立金	0	0	0	0	0				
	小計	0	0	0	0	0				
交付対象生産者数				0	0	0	0	0		
合計			①交付対象 頭数	販売	740	0	0	1,473	2,213	
				保留	712	0	0	235	947	
				合計	1,452	0	0	1,708	3,160	
			②生産者補 給金単価	補給交付金	0	0	0	0		
				積立金	0	0	0	0		
				小計	0	0	0	0		
			③生産者補 給金交付額	補給交付金	0	0	0	0	0	
				積立金	0	0	0	0	0	
				小計	0	0	0	0	0	
			交付対象生産者数				0	0	0	0

## ② 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

### a) 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業

#### (a) 制度運営適正化推進

補給金制度に係る業務を適正に実施するため、肉用子牛の個体識別及び個体登録、販売・保留の確認、制度推進の啓蒙・指導等円滑な業務推進と新統一電算システムによる機構への業務執行状況の報告を実施しました。

#### (b) 指定協会調査指導

補給金制度の適正な実施体制の確保を図るため、事務委託先及び契約生産者に対する補給金交付契約の内容、手続等、事務の実施状況について定期的な点検、調査、指導を実施しました。

### b) 指定協会運営体制支援事業

補給金制度の円滑な実施を図るため、指定協会の運営体制を強化するための財政支援を受け、運営基盤の強化を図りました。

## ③ 肉用牛経営安定対策補完事業

肉用牛生産基盤の強化と経営安定を図るため、地域の中核的担い手が計画的に高能力の繁殖雌牛を増頭した場合に奨励金を交付することにより、自家生産肥育素牛による収益性の向上を目指すと共に肥育経営から一貫経営への移行を牽引して新たな繁殖牛の導入や規模拡大を行う経営に対する支援を実施しました。

## 2) 受託事業

### (1) 独立行政法人農畜産業振興機構受託事業

#### ① 肉豚経営安定交付金制度

養豚経営の安定を図るため、畜産経営の安定に関する法律に基づき、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合にその差額の9割を交付する業務について、県内養豚事業者に対して事業参加手続きに係る周知を行いました。事業に関する問合せ対応については、円滑な事業の推進を図るために連絡調整等業務を実施しました。また、事業申請書類の確認取りまとめ等委託事務については、県内事業参加養豚事業者32戸のうち12戸に対して実施しました。

#### ② 肉用牛肥育経営安定交付金制度

肉用牛肥育経営は、もと畜の導入から肥育牛の出荷まで一定期間を要し、かつ、生産費に占めるもと畜の割合が大きいことから、もと畜価格と枝肉価格によっては大幅な収益性の悪化が懸念されるため、行政庁、(独)農畜産業振興機構及び関係団体との緊密な連携のもとに、本業務を効率的かつ効果的に運営することで円滑な補填金の交付業務を推進しました。

また、新たな業務対象年間への移行を控えて、肉用牛生産者への事業内容の周知と事業参加に係る申請書類の取りまとめを実施しました。

a) 契約生産者の状況 (単位：戸)

区分	対象者数	令和3年度
個人		88
農事組合法人		6
株式会社		26
有限会社		11
合同会社		0
合計		131

b) 品種別個体登録頭数 (単位：頭)

品種区分 四半期区分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
R3.4月～R4.3月	12,851	794	66	13,711

c) 品種別生産者負担金単価 (単位：頭)

品種区分	肉専用種	交雑種	乳用種
積立金単価	5,000	13,000	11,000

d) 地域基金造成額及び補填金交付額 (単位：円、頭)

品種区分	肥育安定基金造成額					肥育牛補填金
	生産者負担金			機構 補助金額	合計額	交付時期 R3.4月～R4.3月
	単価	対象 頭数	前年繰越額 本年度造成額			
肉専用種	5,000	繰越分	12,234,150	7,221,865	66,911,015	7,260,960
		9,491 (11,871)	47,455,000			
交雑種	13,000	繰越分	7,755,186	9,448,126	24,444,312	9,655,372
		557 (642)	7,241,000			
乳用種	11,000	繰越分	1,126,480	2,181,582	3,935,062	2,429,673
		57 (58)	627,000			
合計	—	繰越分	21,115,816	18,851,573	95,290,389	19,346,005
		10,105 (12,571)	55,323,000			

注) ( ) 内は積立金納付猶予対象牛を含む頭数

(2) 公益社団法人中央畜産会受託事業

① 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業 (肥育生産支援)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、インバウンド需要を含む外食需要が減少し、和牛を中心に牛枝肉価格が下落し肉用牛肥育経営の経営悪化が危惧された。このため、所得や営業利益を令和2年度と比較して3%改善することを目的として、経営体質強化を図る肥育経営体に対して奨励金を交付しました。

② 肥育牛経営改善等緊急対策事業（肥育牛経営等緊急支援特別対策事業）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う価格・需要の変動により厳しい環境に置かれている肉用牛肥育経営体において、コスト低減等の経営体質の強化等が必要となっている。このため、経営体質の強化を図るために肥育牛経営改善計画を策定した肥育牛経営体に対して、出荷頭数に応じた奨励金を交付しました。

(3) 一般社団法人全国肉用牛振興基金協会受託事業

① 生産基盤拡大加速化事業（肉用牛）

輸出の拡大に向けて和牛の増産を推進するため、畜産クラスター計画に基づき、畜産クラスター協議会の構成員が優良な繁殖雌牛を増頭し、輸出に適した和牛肉の増産を図るための繁殖雌牛の増頭を支援しました。

(4) その他

- ① 事業推進に必要な調査を実施した。
- ② 関係団体、関係事業との協力を努めた。

3) 令和3年度の主な行事

(令和4年3月末現在)

年	月	日	行 事 内 容
3	4	23	肉用牛関係事業等に関する情報連絡会議 (Web)
		5	21
	9	30	第2回肉用牛関係事業等情報連絡会議 (Web)
	11	26	令和3年度肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る全国会議 (Web)
	12	24	令和3年度肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る推進会議 (Web)
4	2	8	第3回肉用牛関係事業等情報連絡会議 (Web)
		22	肉用牛肥育経営安定交付金制度全国統一電算処理システム研修会 (Web)
	3	16	令和3年度肉用子牛生産者補給金制度等に係る経理研修会 (Web)
		30	肉用牛経営安定対策補完事業に係る全国会議 (Web)